

県内景況は緩やかな改善が続く

目次

調査要領

1. 概況	-----	2
2. 業況判断	製造業、非製造業とも改善	3
3. 売上	製造業、非製造業とも改善	3
4. 受注	製造業は改善、建設業は悪化	4
5. 経常利益	製造業は悪化、非製造業は改善	4
6. 在庫	商品在庫、原材料在庫とも過剰感が減少	4
7. 販売価格・仕入価格	販売価格：製造業、非製造業とも低下幅が縮小	5
8. 資金繰り・借入金残高	資金繰り：製造業、非製造業とも悪化	5
9. 雇用	製造業、非製造業とも不足感	6
10. 設備投資	製造業、非製造業とも減少	6
11. 経営上の問題点	「先行き見通し難」「資金繰り難」が増加	7

調査要領

- 調査目的** 鳥取県内の企業動向を調査し、県内景気の現状及び先行きを把握するため。
- 調査対象** 県内企業242社、回答企業113社、回答率46.7%。
- 調査方法** 各支店を通じるか、または郵送による記名式回答。
- 調査対象期間** 平成19年1～3月実績及び平成19年4～6月予想。
- 調査時点** 平成19年4月中旬～下旬。

業種別回答企業数

		回答企業数	構 成 比	うち中小企業	構 成 比
製 造 業	食 料 品	5	4.4	5	100.0
	織 維 ・ 縫 製	3	2.7	3	100.0
	木 材 ・ 木 製 品	4	3.5	4	100.0
	紙 ・ 紙 加 工 品	3	2.7	3	100.0
	窯 業 ・ 土 石	4	3.5	4	100.0
	金 属 ・ 機 械	13	11.5	12	92.3
	電 気 機 械	14	12.4	13	92.9
	印 刷 ・ そ の 他	9	8.0	9	100.0
計		55	48.7	53	96.4
非 製 造 業	建 設 業	19	16.8	19	100.0
	卸 売 業	18	15.9	16	88.9
	小 売 業	12	10.6	8	66.7
	運 輸 業	4	3.5	4	100.0
	旅 館 ・ ホ テ ル	5	4.4	5	100.0
計		58	51.3	52	89.7
全 部 門 合 計		113	100.0	105	92.9

注：中小企業の範囲

- 製造業・建設業・運輸業... 資本金3億円以下または従業員300人以下の企業
- 卸 売 業..... 資本金1億円以下または従業員100人以下の企業
- 小 売 業..... 資本金5千万円以下または従業員50人以下の企業
- サ ー ビ ス 業..... 資本金5千万円以下または従業員100人以下の企業

BSIとは

ビジネス・サーベイ・インデックスは業況や売上など項目ごとに、企業経営者の「好転」、「不変」、「悪化」の判断を集計し指標化したもので、時系列的に景気の動きを把握するもの。BSIがプラスならば全体として「良い・上昇・好転」とみなされ、逆にマイナスは「悪い・低下・悪化」と判断できる。

1 概況.....県内景況は緩やかな改善が続く

鳥取県企業動向調査によると、平成19年1～3月の「自社業況の総合判断」は、製造業では、食品や金属・機械などが大幅に改善したことから好転幅が拡大し、非製造業も僅かながら悪化幅が縮小し、全産業のBSIは2.0と前期比(5.0)3.0ポイント改善した。

製造業は業種別にみると、紙・紙加工品や電気機械などは悪化に転じたが、印刷・その他は「好転」に転じ、食品や金属・機械などで好転幅が拡大し、全体でも好転幅が拡大した。非製造業では小売業が悪化に転じ、建設業で悪化幅が拡大したが、卸売業と旅館・ホテルなどが改善し、全体でも悪化幅が僅かながら縮小した。

先行きの景況感は、19年4～6月は、製造業が好転幅が縮小し、非製造業も悪化幅が拡大する予想となっている。

1. 業種別の景況

製造業の景況感は、好転幅が拡大した(+1.0+5.5)。

非製造業の景況感は、前期比3.0ポイント改善したが、40四半期連続でマイナスとなった。(11.58.5)

2. 売上高の景況

売上高のBSIは、製造業が増加幅は拡大し、非製造業も減少幅が縮小したことから、前回調査より

改善した。(4.0±0.0)

3. 受注高の景況

受注高のBSIは、製造業で増加幅が拡大したが、建設業は減少幅が拡大したことから、40四半期連続で減少となった。(1.01.5)

4. 経常利益の景況

経常利益のBSIは、製造業で減少幅が拡大したが、非製造業の減少幅が大幅に縮小したことから、減少幅が縮小した。(10.06.0)

5. 販売価格、仕入価格の景況

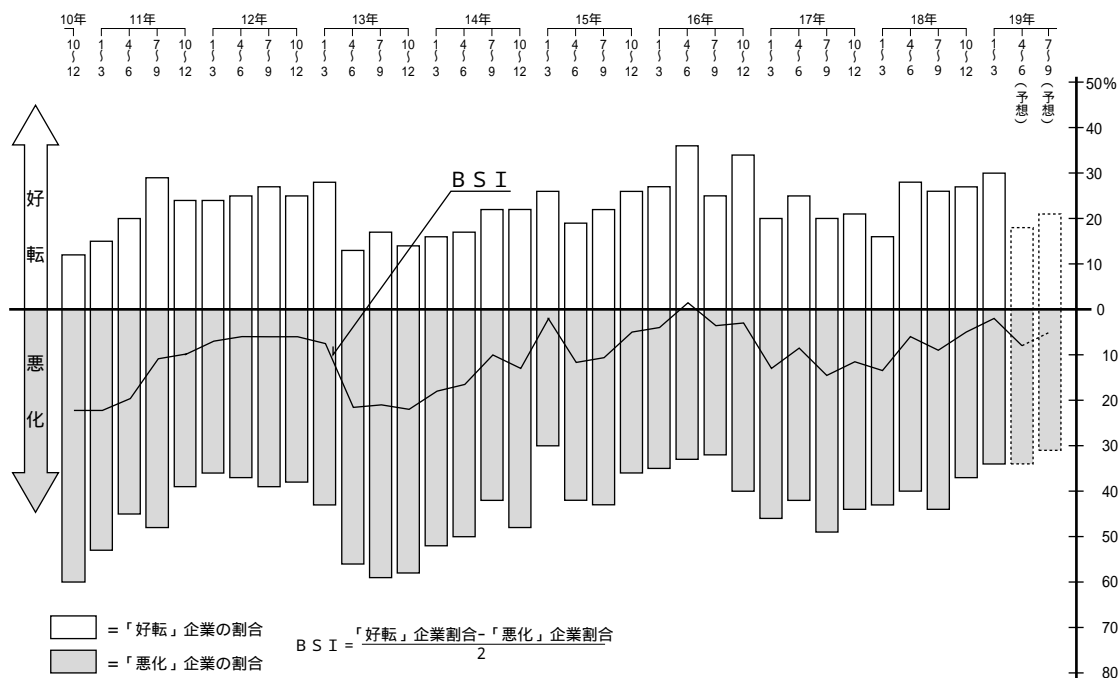
販売価格のBSIは、製造業で低下幅が縮小し、非製造業も縮小しことから、前回調査より低下幅が縮小した。(9.04.5)

仕入価格のBSIは、製造業、非製造業ともに上昇幅が拡大し、17四半期連続の上昇となった。(16.5+21.0)

6. 経営上の問題点

経営上の問題点(大きいものから2項目の選択)についての上位項目は、「売上・受注の減少」を選択する企業が全体の42%、「仕入価格の上昇」が29%、「先行き見通し難」が25%、「過当競争」が22%、「販売価格の低下」が19%となった。「先行き見通し難」が前回調査より7ポイント上昇した。

図 - 1 自社業況の総合判断の推移



2 業況判断.....製造業、非製造業とも改善

自社の業況が前年同期に比べて好転しているか、悪化しているかについて経営者の判断を示す「自社業況の総合判断」のBSI「(好転の割合 - 悪化の割合) ÷ 2」は、19年1～3月は2.0で、18年10～12月の5.0より3.0ポイント改善し、前回(19年1月)調査の先行き予想の5.0からも3.0ポイント改善した。

今後の予想のBSIは、19年4～6月は8.0、7～9月も5.0と僅かながら悪化する予想である。

製造業の業況判断のBSIは18年10～12月の+1.0から1～3月は、食料品や金属・機械などが改善し、+5.5と4.5ポイント改善した。

先行き4～6月は金属・機械や印刷・その他で好転幅が縮小することなどから+1.0と悪化するが、7～8月は+4.5と改善する予想となっている。

非製造業の業況判断のBSIは、平成18年10～12月の11.5から19年1～3月は卸売業や運輸業などで改善したことから、8.5と3.0ポイント悪化幅が縮小した。

先行き4～6月は、運輸業や旅館・ホテルが悪化に転じ、卸売業や建設業で悪化幅が拡大することから、16.5と大幅に悪化する予想である。4～6月は建設業や小売業などが改善することから、14.5と僅かながら改善する予想となっている。

図 - 2 業況総合判断 (製造業)

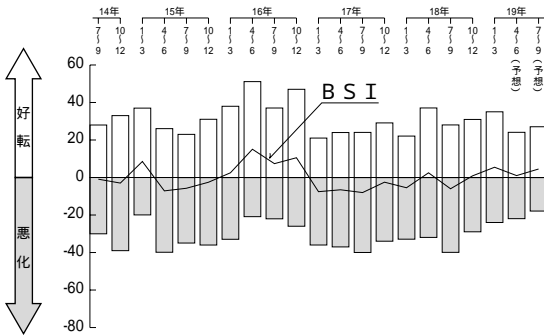
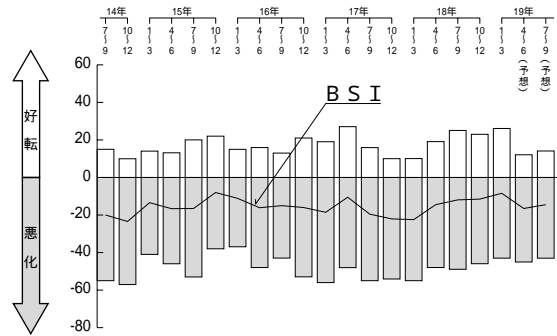


図 - 3 業況総合判断 (非製造業)



3 売上.....製造業、非製造業とも改善

製造業は増加幅が拡大し、非製造業は減少幅が縮小した。

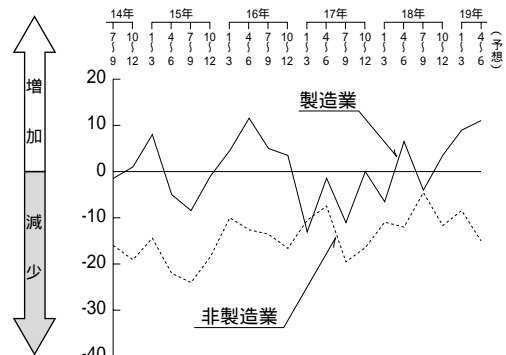
製造業は紙・紙加工品で増加幅が縮小したが、金属・機械や食料品の増加幅が拡大し、繊維と印刷・その他の減少幅が縮小したことから、平成19年1～3月のBSIは、18年10～12月の+3.5から5.5ポイント改善し+9.0と増加幅が拡大した。4～6月は食料品や印刷・その他などが改善することなどから+11.0と引き続き改善する予想である。

非製造業は小売業が減少に転じ、建設業で減少幅が拡大したが、旅館・ホテルと運輸業が増加に転じ、卸売業の減少幅が大幅に縮小したことから、BSIは10～12月の11.5から1～3月は8.5と改善した。4～6月は建設業や卸売業で減少幅が拡大し、運輸業も減少に転じることなどから15.0と減少幅が拡大する予想となっている。

なお、売上高の回答の集計は、全産業(回答のあった46社の加重平均)では、19年1～3月の実績は非製造業が減少したものの、製造業は増加し前年同期比3.4%増加した。4～6月の予想は、製造業が引き続き増加し、非製造業はほぼ同水準を維持することから同2.5%増加する予想となっている。

産業別にみると、製造業(26社)は19年1～3月の実績は電気機械が大幅に増加したことから、同17.0%増加した。4～6月の予想も増加幅は縮小するものの同1.9%増加する予想である。非製造業(20社)は、19年1～3月の実績が同2.9%減少したが、4～6月の予想は同0.1%減とほぼ前年時と同水準となる予想となっている。

図 - 4 売上高のBSI



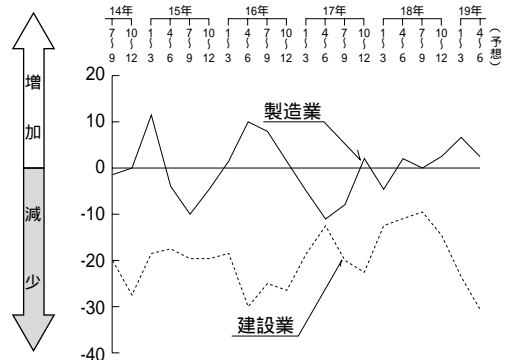
4 受注.....製造業は改善、建設業は悪化

製造業は増加幅が拡大し、建設業は減少幅が拡大した。

製造業は紙・紙加工品や電気機械が減少に転じたが、食料品や金属・機械などの増加幅が拡大し、19年1～3月の受注高B S Iは6.5と改善した。4～6月は、電気機械や紙・紙加工品などの増加幅が縮小することなどから、B S Iは+2.5と増加幅が縮小する予想である。

建設業の受注高B S Iは、18年10～12月の14.5から19年1～3月は23.5と2四半期連続で減少幅が拡大した。4～6月も30.5と7.0ポイント悪化する予想となっている。

図 - 5 受注額のB S I



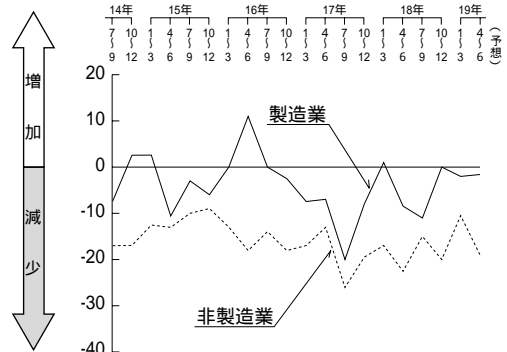
5 経常利益.....製造業は悪化、非製造業は改善

減少幅は製造業が拡大し、非製造業は縮小した。

製造業は、印刷・その他や繊維・縫製などで減少幅が縮小したが、電気機械や食料品が悪化し、B S Iは18年10～12月の±0.0から19年1～3月は2.0と減少幅が拡大した。4～6月は金属機械や木材・木製品などが悪化するが、電気機械や食料品などが改善し、1.5と僅かながら改善する予想である。

非製造業は、小売業が悪化した。卸売業や建設業などで減少幅が縮小し、19年1～3月のB S Iは10.5と18年10～12月より9.5ポイント改善した。4～6月は全ての業種が悪化することから、19.0と減少幅が拡大する予想となっている。

図 - 6 経常利益のB S I



6 在庫.....商品在庫、原材料在庫とも過剰感が減少

製品在庫は過剰感が僅かながら増加したが、商品在庫は過剰感が減少した。

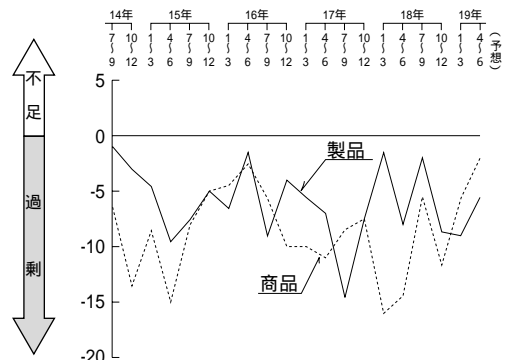
製品在庫のB S I「(不足 - 過剰) ÷ 2」は電気機械や紙・紙加工品で過剰感が減少したが、食料品や窯業・土石などで過剰感が増加したことなどから、B S Iは18年10～12月の8.5から19年1～3月は9.0と過剰感が増加した。4～6月は電機・機械や食料品などで過剰感が減少することなどから、B S Iは5.5と過剰感が減少する予想である。

商品在庫のB S Iは、小売業、卸売業とも過剰感が減少し、全体でも19年1～3月は18年10～12月の11.5から5.5に過剰感が減少した。4～6月は卸売業で過剰感が減少し、2.0と引き続き過剰感が減少する予想となっている。

製造業の原材料在庫は、繊維・縫製で不足感が減少し、窯業・土石や金属・機械などで過剰感が増加したが、電気機械や木材・木製品などで過剰感が減少し、18年10～12月の6.5から1～3月は4.5と

過剰感が減少した。4～6月は、金属・機械や電気機械などで過剰感が減少することから、B S Iは1.5と引き続き過剰感が減少する予想となっている。

図 - 7 製品・商品在庫のB S I



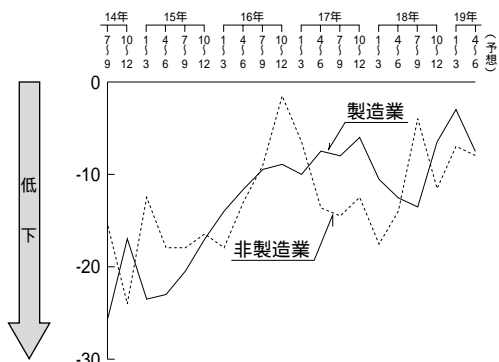
7 販売価格・仕入価格.....販売価格：製造業、非製造業とも低下幅が縮小

販売価格は製造業、非製造業とも低下幅が縮小。

製造業の販売価格のBSI¹(上昇-低下)÷2は、電気機械や印刷・その他などで低下幅が縮小したことなどから、18年10～12月の6.5から19年1～3月は3.0と低下幅が縮小した。4～6月は電気機械や窯業・土石などの低下幅が拡大することから、BSIは7.5と低下幅が拡大する予想となっている。

非製造業の販売価格のBSIは、建設業で低下幅が拡大したが、卸売業は上昇に転じ、小売業では低下幅が縮小したことから、19年1～3月のBSIは6.0と改善した。4～6月は建設業で低下幅が拡大することから、BSIは8.0と僅かながら悪化する予想である。

図 - 8 販売価格のBSI

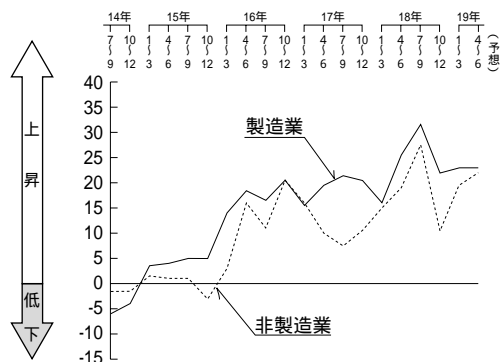


仕入価格は製造業、非製造業とも上昇幅が拡大。

製造業の原材料仕入価格のBSI¹(上昇-低下)÷2は電気機械などで上昇幅が縮小したが、食品や窯業・土石などで上昇幅が拡大し、18年10～12月の+22.0から19年1～3月は+23.0と上昇幅が僅かながら拡大した。4～6月は、食品などで上昇幅が縮小し、印刷・その他などでは拡大することから、BSIは+23.0と同水準で推移する予想となっている。

非製造業の仕入価格のBSIは旅館・ホテルで上昇幅が縮小したが、その他の業種は上昇幅が拡大したことから、BSIは10～12月の10.5から1～3月は+19.5と上昇幅が拡大した。4～6月は小売業などで上昇幅が拡大することなどから、+22.0と引き続き上昇幅が拡大する予想である。

図 - 9 仕入価格のBSI



8 資金繰・借入金残高.....資金繰：製造業、非製造業とも悪化

資金繰りは製造業、非製造業とも悪化した。

製造業の資金繰りのBSI¹(楽-苦しい)÷2は金属・機械や電気機械が悪化したことなどから、18年10～12月の2.5から19年1～3月は8.5と悪化した。4～6月は9.0と僅かながら悪化する予想である。

非製造業のBSIは、1～3月は建設業や小売業などが悪化したことから14.5と10～12月の10.0から悪化した。4～6月は13.5と僅かながら改善する予想となっている。

借入金残高は製造業で減少幅が縮小し、非製造業は増加幅が拡大した。

製造業の借入金残高のBSI¹(減少-増加)÷2は電気機械や金属・機械などで減少幅が縮小したことから、18年10～12月の+12.0から19年1～3月は3.5と減少幅が縮小した。4～6月は+4.5と減少幅が僅かながら拡大する予想である。

非製造業のBSIは、1～3月は、10～12月の1.0から5.5と増加幅が拡大した。4～6月は±0.0と増加幅が縮小する予想となっている。

図 - 10 資金繰のBSI

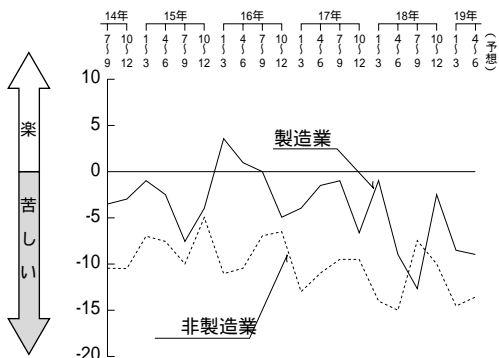
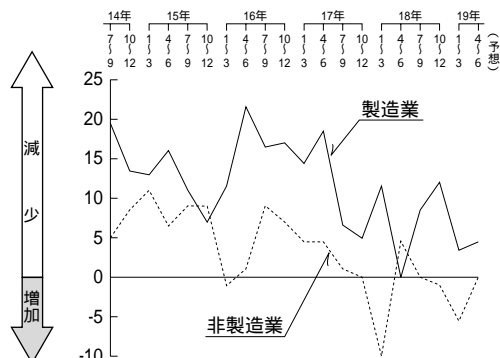


図 - 11 借入金残高のBSI



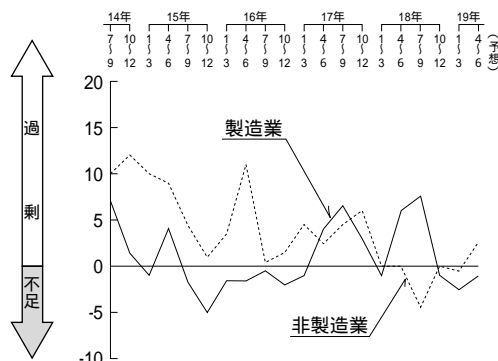
9 雇 用..... 製造業、非製造業とも不足感

常用雇用者 B S I は、製造業は不足感が増加し、非製造業も不足感が僅かながら増加した。先行きは製造業で不足感が僅かながら減少するが、非製造業は過剰感に転じる予想となっている。

製造業の19年1～3月の常用雇用者 B S I 「(過剰 - 不足) ÷ 2」は、窯業・土石で過剰感が増加したが、繊維・縫製や印刷・その他が不足感に転じたことなどから10～12月の 1.0から 2.5と不足感が増加した。4～6月は 1.0と不足感が僅かながら減少する予想である。

非製造業の B S I は10～12月の±0.0から、建設業が不足感に転じ、小売業で不足感が拡大したことから 0.5と不足感が僅かながら増加した。4～6月は +2.5と過剰感に転じる予想となった。

図 - 12 雇用 (常用雇用者) の B S I



10 設備投資..... 製造業、非製造業とも減少

19年1～3月に設備投資をした企業は回答企業の32%で、前年同期実績(38%)を6ポイント下回った。4～6月の設備投資計画は31%で前年同期実績(36%)を5ポイント下回る計画となっている。

製造業の19年1～3月の設備投資の実施割合は46%と前年同期実績(48%)より2ポイント下回り、繊維・縫製や窯業・土石などが大幅に低下した。投資目的(複数回答、構成比、この項目は建設業を含む)は、「補修・更新」が56%、「合理化・省力化」が28%、「増産・能力増強」が24%、「研究開発」が16%などだった。4～6月の実施計画は42%と前年同期実績(40%)より2ポイント上回る計画となっている。

非製造業の1～3月の実施割合は20%と前年同期実績(27%)を7ポイント下回った。小売業や建設業などが低下した。投資目的(建設業を除く)は、「補修・更新」が80%、「販売力の増強」「合理化・省力化」「新規事業(店舗移転含む)」がとも10%だった。

4～6月の実施計画は21%と前年同期実績(32%)を11ポイント下回る計画となっている。

表 - 1 業種別設備投資企業割合

()内は前年同期実績：単位%

	18年10～12月 実	19年1～3月 績	19年4～6月 績 計	画
全 産 業	35(34)	32(38)	31(36)	
食 料 品	55(43)	40(50)	60(33)	
繊維・縫製	25(33)	0(0)	0(0)	
木材・木製品	50(33)	0(0)	25(33)	
紙・紙加工品	25(17)	33(20)	0(25)	
窯業・土石	40(0)	0(0)	0(20)	
金属・機械	62(57)	55(83)	55(70)	
電気機械	60(62)	79(71)	71(46)	
印刷・その他	29(43)	44(29)	22(22)	
製 造 業	48(44)	46(48)	42(40)	
建 設 業	13(15)	6(7)	11(22)	
卸 売 業	12(14)	12(12)	6(24)	
小 売 業	43(67)	33(88)	58(50)	
運 輸 業	25(50)	75(50)	0(40)	
旅館・ホテル	20(0)	20(20)	40(40)	
非 製 造 業	21(24)	20(27)	21(32)	

図 - 13 設備投資実施企業の割合の推移

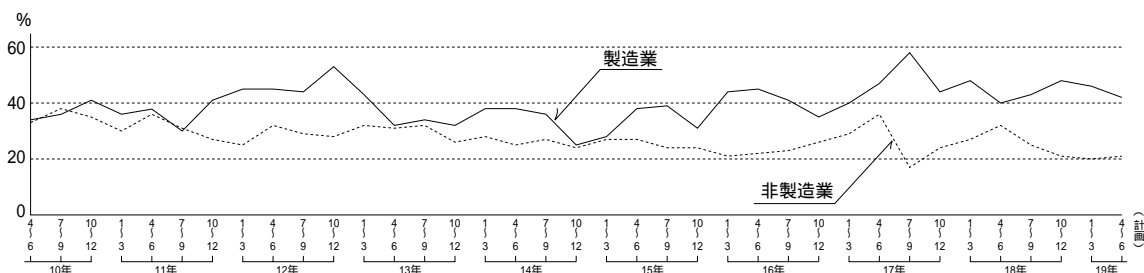
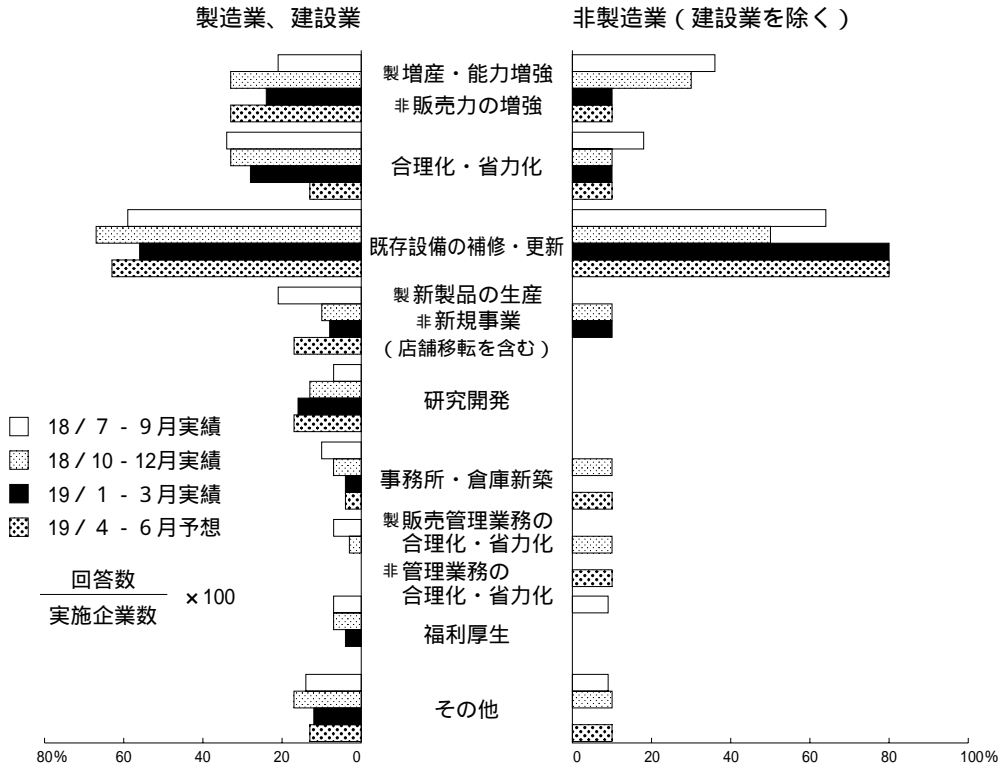


図 - 14 産業別設備投資の目的（複数回答、構成比）



11 経営上の問題点……「先行き見通し難」「資金繰り難」が増加

19年1～3月実績の経営上の主な問題点（2項目までの選択、回答なしを含む）は、「売上・受注の減少」42%（19年1月調査45%）、「仕入価格の上昇」29%（同34%）、「先行き見通し難」25%（同18%）、「過当競争」22%（同28%）が上位項目だった。

4～6月は「先行き見通し難」や「仕入れ価格の上昇」などが増加する予想となっている。

製造業の上位項目は「仕入価格の上昇」35%（19年1月調査42%）、「売上・受注の減少」29%（同36%）、「先行き見通し難」24%（同20%）、「販売価格の低下」20%（同20%）、「諸経費の増加」18%（同12%）の順だった。4～6月は「売上・受注の減少」や「先行き見通し難」などが増加する予想となっている。

非製造業の上位項目は「売上・受注の減少」53%（19年1月調査54%）、「過当競争」28%（同37%）、「先行き見通し難」26%（同16%）、「仕入価格の上昇」24%（同25%）、「販売価格の低下」19%（同28%）の順だった。4～6月は「先行き見通し難」や「売上・受注の減少」などが増加する予想となっている。

全国的な景気回復のなか、鳥取県内の景気回復の

遅れから、今後の景気動向に対する不透明感が窺われる結果となっている。

図 - 15 経営上の問題点（上位5項目）

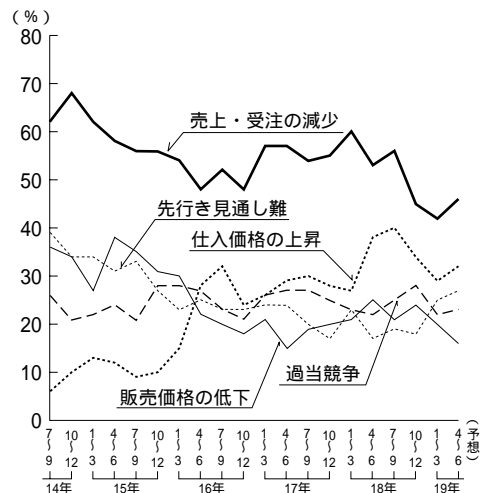


表 - 2 業種別 業況判断 B S I

業種	期 判断	18年10～12月実績				19年1～3月実績				19年4～6月予想			
		A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2
全産業		27	36	37	5.0	30	36	34	2.0	18	48	34	8.0
食料品		27	55	18	4.5	60	40	0	30.0	60	40	0	30.0
繊維・縫製		0	25	75	37.5	33	34	33	0.0	33	34	33	0.0
木材・木製品		50	0	50	0.0	25	50	25	0.0	25	50	25	0.0
紙・紙加工品		50	25	25	12.5	0	67	33	16.5	0	67	33	16.5
窯業・土石		20	40	40	10.0	25	50	25	0.0	0	100	0	0.0
金属・機械		31	61	8	11.5	62	30	8	27.0	31	54	15	8.0
電気機械		36	37	27	4.5	7	50	43	18.0	7	57	36	14.5
印刷・その他		29	28	43	7.0	44	34	22	11.0	33	45	22	5.5
製造業		31	40	29	1.0	35	41	24	5.5	24	54	22	1.0
建設業		18	29	53	17.5	11	36	53	21.0	11	20	69	29.0
卸売業		18	29	53	17.5	33	23	44	5.5	11	50	39	14.0
小売業		29	50	21	4.0	25	33	42	8.5	17	66	17	0.0
運輸業		50	0	50	0.0	50	25	25	12.5	0	75	25	12.5
旅館・ホテル		20	20	60	20.0	40	40	20	10.0	20	20	60	20.0
非製造業		23	31	46	11.5	26	31	43	8.5	12	43	45	16.5

表 - 3 業種別 売上高 B S I

業種	期 判断	18年10～12月実績				19年1～3月実績				19年4～6月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2
全産業		34	24	42	4.0	34	32	34	0.0	31	34	35	2.0
食料品		55	18	27	14.0	40	60	0	20.0	60	40	0	30.0
繊維・縫製		0	25	75	37.5	33	34	33	0.0	33	34	33	0.0
木材・木製品		50	0	50	0.0	25	50	25	0.0	50	25	25	12.5
紙・紙加工品		75	0	25	25.0	0	100	0	0.0	0	67	33	16.5
窯業・土石		40	20	40	0.0	50	0	50	0.0	50	50	0	25.0
金属・機械		46	39	15	15.5	77	8	15	31.0	62	23	15	23.5
電気機械		36	28	36	0.0	29	42	29	0.0	36	21	43	3.5
印刷・その他		29	14	57	14.0	33	34	33	0.0	44	34	22	11.0
製造業		42	23	35	3.5	42	34	24	9.0	46	30	24	11.0
建設業		24	17	59	17.5	11	36	53	21.0	16	21	63	23.5
卸売業		18	29	53	17.5	39	16	45	3.0	22	28	50	14.0
小売業		36	36	28	4.0	17	41	42	12.5	17	66	17	0.0
運輸業		50	0	50	0.0	50	25	25	12.5	0	50	50	25.0
旅館・ホテル		20	20	60	20.0	40	40	20	10.0	20	40	40	10.0
非製造業		26	25	49	11.5	26	31	43	8.5	17	36	47	15.0

表 - 4 業種別 経常利益 B S I

業種	判断	18年10～12月実績				19年1～3月実績				19年4～6月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2
全産業		22	36	42	10.0	27	34	39	6.0	16	47	37	10.5
食料品		36	36	28	4.0	40	20	40	0.0	40	60	0	20.0
繊維・縫製		0	75	25	12.5	33	34	33	0.0	33	34	33	0.0
木材・木製品		50	0	50	0.0	50	25	25	12.5	25	50	25	0.0
紙・紙加工品		75	0	25	25.0	33	67	0	16.5	0	100	0	0.0
窯業・土石		40	0	60	10.0	25	25	50	12.5	0	100	0	0.0
金属・機械		38	47	15	11.5	46	31	23	11.5	23	38	39	8.0
電気機械		18	46	36	9.0	7	43	50	21.5	14	43	43	14.5
印刷・その他		29	14	57	14.0	33	34	33	0.0	44	34	22	11.0
製造業		34	32	34	0.0	31	34	35	2.0	24	49	27	1.5
建設業		0	35	65	32.5	5	42	53	24.0	0	42	58	29.0
卸売業		0	41	59	29.5	28	28	44	8.0	17	39	44	13.5
小売業		29	50	21	4.0	33	34	33	0.0	17	58	25	4.0
運輸業		50	0	50	0.0	75	0	25	25.0	0	50	50	25.0
旅館・ホテル		0	40	60	30.0	0	60	40	20.0	0	40	60	30.0
非製造業		11	38	51	20.0	22	35	43	10.5	9	44	47	19.0

表 - 5 業種別 販売価格 B S I

業種	判断	18年10～12月実績				19年1～3月実績				19年4～6月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		10	62	28	9.0	15	61	24	4.5	11	45	44	16.5
食料品		9	82	9	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
繊維・縫製		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
木材・木製品		50	25	25	12.5	25	50	25	0.0	25	50	25	0.0
紙・紙加工品		25	75	0	12.5	67	33	0	33.5	67	33	0	33.5
窯業・土石		0	80	20	10.0	0	100	0	0.0	0	75	25	12.5
金属・機械		15	62	23	4.0	23	69	8	7.5	15	70	15	0.0
電気機械		9	37	54	22.5	8	53	39	15.5	8	38	54	23.0
印刷・その他		0	57	43	21.5	0	67	33	16.5	11	45	44	16.5
製造業		12	63	25	6.5	13	68	19	3.0	13	59	28	7.5
建設業		6	71	23	8.5	0	46	54	27.0	0	31	69	34.5
卸売業		12	41	47	17.5	44	28	28	8.0	44	28	28	8.0
小売業		7	72	21	7.0	8	84	8	0.0	8	84	8	0.0
運輸業		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
旅館・ホテル		0	60	40	20.0	0	60	40	20.0	0	60	40	20.0
非製造業		7	63	30	11.5	17	54	29	6.0	17	50	33	8.0

表 - 6 業種別 仕入価格 B S I

業種	判断	18年10～12月実績				19年1～3月実績				19年4～6月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		41	51	8	16.5	48	46	6	21.0	49	47	4	22.5
食料品		51	37	9	22.5	80	20	0	40.0	60	40	0	30.0
繊維・縫製		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
木材・木製品		75	25	0	37.5	75	25	0	37.5	75	25	0	37.5
紙・紙加工品		75	25	0	37.5	67	33	0	33.5	33	67	0	16.5
窯業・土石		40	60	0	20.0	50	50	0	25.0	25	75	0	12.5
金属・機械		54	38	8	23.0	54	46	0	27.0	62	38	0	31.0
電気機械		54	37	9	22.5	31	69	0	15.5	39	53	8	15.5
印刷・その他		29	71	0	14.5	33	67	0	16.5	56	44	0	28.0
製造業		49	46	5	22.0	46	54	0	23.0	48	50	2	23.0
建設業		24	70	6	9.0	57	29	14	21.5	50	36	14	18.0
卸売業		53	35	12	20.5	72	11	17	27.5	61	33	6	27.5
小売業		7	72	21	7.0	9	82	9	0.0	27	73	0	13.5
運輸業		75	25	0	37.5	100	0	0	50.0	100	0	0	50.0
旅館・ホテル		20	80	0	10.0	0	100	0	0.0	20	80	0	10.0
非製造業		32	57	11	10.5	50	39	11	19.5	50	44	6	22.0

表 - 7 経営上の問題点（上位項目）

（単位：％）

	問題点	13年		14年				15年				16年				17年				18年				19年	
																									予想
製 造 業	1 仕入価格の上昇	5	4	5	6	11	12	13	14	14	22	38	41	30	31	38	40	41	33	50	48	42	35	38	
	2 売上・受注の減少	77	73	64	61	62	47	49	52	54	41	36	41	41	50	48	47	46	55	38	52	36	29	36	
	3 先行き見通し難	40	44	41	45	41	38	38	35	27	29	32	25	22	26	19	18	16	22	20	19	20	24	27	
	4 販売価格の低下	44	25	31	43	31	30	48	42	29	30	23	23	17	18	13	22	18	22	22	23	20	20	18	
	5 諸経費の増加	4	2	7	3	2	10	8	6	7	11	9	12	10	10	6	16	15	16	25	11	12	18	13	
	6 過当競争	12	15	21	18	15	17	19	17	20	19	20	17	17	23	20	24	18	21	12	15	20	16	16	
	7 資金繰り難	4	4	3	7	5	10	10	7	12	8	3	4	4	6	6	7	4	5	5	5	10	9	7	
	8 金利負担の増加	2	4	2	1	3	2	0	1	0	3	1	3	1	2	2	4	4	2	5	2	7	5	9	
非 製 造 業	1 売上・受注の減少	64	66	67	63	74	79	69	60	59	68	64	63	56	64	66	61	67	65	69	62	54	53	55	
	2 過当競争	29	29	35	35	28	27	29	25	37	38	36	28	25	29	34	29	33	25	33	36	37	28	29	
	3 先行き見通し難	28	22	35	33	26	29	22	31	27	17	14	21	25	22	29	21	18	24	14	18	16	26	28	
	4 仕入価格の上昇	2	7	5	7	9	14	11	2	6	7	16	24	18	22	20	21	13	20	26	31	25	24	26	
	5 販売価格の低下	29	40	27	28	38	23	27	27	33	30	21	18	19	25	17	16	23	20	29	20	28	19	14	
	6 資金繰り難	16	14	10	10	10	14	16	15	8	13	16	10	6	14	10	14	15	14	12	13	9	14	14	
	7 諸経費の増加	5	3	3	5	2	4	0	7	8	3	4	10	7	7	10	9	12	12	9	11	23	10	7	
	8 金利負担の増加	2	0	3	3	2	0	4	7	6	5	7	3	1	2	2	2	2	4	2	2	4	7	10	

注：上位2項目の複数回答、回答数÷企業数（回答なしを含む）

お客様の事業資金をバックアップ!!

とろぎん

活 力

シリーズ

かつりよく

中小事業者向け融資

3つのラインナップから貴社に最適な商品をお選びいただけます。

短期運転資金

地域振興ファンド

活力

① 利率 年1.5%~

② 原則 無担保・第三者保証人不要

③ 保証料不要

長期運転資金 ※1

活力II

信用保証協会保証付

① ゆとりの5年返済 ※2

② 無担保・第三者保証人不要 ※3

③ 原則翌営業日回答

長期運転資金

活力III

オリックス(株)保証付

① 3,000万円までの融資幅

② 無担保・第三者保証人不要

③ ゆとりの5年返済

※1 岡山県内の方は設備資金にもご利用いただけます。 ※2 岡山県内の方は7年以内となります。
※3 岡山県内の方は後継者、配偶者、同居家族のうちいずれか1名必要です。

お問合せは
とろぎんダイレクトセンター

0120-86-6915

平日(銀行休業日を除く)
9:00~19:00

TOTTORI
BANK



青い鳥の銀行です。
鳥取銀行

<http://www.tottoribank.co.jp>

平成9年5月31日現在

R2100

古紙配合率100%再生紙を使用しています

TOTTORI BANK

発行 鳥取銀行 ふるさと振興部
くらしと経営相談所

〒680 8686 鳥取市永楽温泉町171番地
TEL 0857-37-0220